

ちくさえとこ通信

令和2年 祝 ちくさ 成人を祝う会

No.15

2020.1.15 発行



▲千種南小学校



▲千種東小学校



▲千種北小学校

1月2日にセンターちくさで「成人を祝う会」が開催されました。ご成人おめでとうございます。

発行者 千種まちづくり推進委員会 兵庫県宍粟市千種町千草 59-1 TEL・FAX 0790-71-0230



ちくさの秋を満喫

ちくさ杉の子こども園



園外保育では、秋の自然に触れ、その変化の美しさ、不思議さを感じながら、自然のなかで遊ぶ心地よさを実感しています。いろいろなルートで地域散策すると「ここ、ぼくの家!」「お接待でお菓子もらったところ」「この坂道を小学生と一緒に通ってるで」とみんなうれしそうに教えてくれます。

園では、拾ってかえた落ち葉や木の実など自然物を使い工夫して遊んでいます。部屋には、どんぐりごま、松ぼっくりぼうや、リースなどのアイデア作品がいっぱい!

毎日、好奇心いっぱいに活動している子どもたちです。



☆地図で確認
「奥西山はこっちでいい?」



☆いっぱい秋をみつけるぞ!
ほら、あそこにも



☆みてみて!こんな葉っぱ見つけたよ。



☆葉っぱいっぱい拾ったよ!すていでしょ



☆坂道登って黒土へ
見晴らしがいい場所でお弁当



☆採りたての柿に飴もあるよ。
ほしい?あげないよー

ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び
「ふるさと千種」を愛する心を育てています



4年生 緑の少年団活動発表会に参加(9月)

「千種の森と千種の森が育むいのちを育てる活動」というテーマのもと、4年生児童が宝塚西谷の森公園で行われた「緑の少年団活動発表会」に参加しました。昨年、環境体験学習を通して学んだことを劇にまとめて発表しました。「千種には豊かな森が広がり、大好きな森を今後も大切にしなければならないこと」や「森を守っていくためには、解決しなければならない課題があるということ」などを参加している方々に伝えました。堂々とした発表をすることでき、「優秀賞」をいただきました。これからも、千種の自然環境についてしっかりと学んでいきます。

千種小学校

5年生 プログラミングに挑戦(12月)

2020年度から実施される新しい学習指導要領に「プログラミング教育」が盛り込まれ、小学校で必修化されます。これはコンピュータプログラムを意図通りに動かす体験を通じ、論理的な思考力を育むとともに、幼いころからプログラムの世界に触れ、ITに強い人材を育成する狙いがあります。5年生児童が園小中高連携教育の交流授業で千種高校を訪れ、大田先生に指導をしていただきました。児童は、先生の説明をしっかりと聞き、楽しそうに学習しました。



1年生「秋みつけ」に大森神社を散策(11月)

11月の下旬に、1年生が生活科の「秋みつけ」の学習で、大森神社を訪れました。色とりどりの葉っぱやどんぐりが地面にたくさん落ちているのを見つけて、児童は大喜びの様子でした。葉っぱやどんぐりを使って「王冠」を作りました。神社から学校へ向かう帰り道でも、山の木々の様子や川の流れの様子を観察しながら歩きました。天気にも恵まれ、とても楽しい秋の1日になりました。



千種中学校～2学期の歩み～



◇3年劇「かなくそ」



◇小2・中1 交流会



◇CHIKUSA 中高合同体育祭

◇小中合同しめ縄づくり



◇たたら製鉄学習

◇たたら製鉄学習

2学期は、中高合同体育祭やふれあい文化祭があり、連携行事に向けての練習などでとても大変だったと思います。体育祭では、暑い中でしたがみんなで協力して練習に臨み、本番では素晴らしい演技をすることができました。クラスはもちろん、全校生の団結力も高まったと思います。文化祭では、合唱練習でうまくいかないこともありましたが、練習を重ねるうちにみんなの気持ちも高まり、本番では素晴らしい合唱を届けることができました。3学期は2学期にうまくいったことを生かすとともに、うまくいかないときには「なぜなのか」を考えて取り組めるようにすることが大切だと思います。【生徒会長 3年 平田 俊生】

千種高校 修学旅行はシンガポール&マレーシアへ！



千種高校2年生34名が、11月10日から3泊6日（機中2泊）の日程で、シンガポールとマレーシアへの修学旅行に行ってきました。

多くの生徒にとって初めての海外旅行で、出国審査に緊張しながらの出発でしたが、現地での様々な体験を通して、生徒たちは、ひと回り大きく成長して帰国しました。

修学旅行での活動を写真とともに紹介します。

◆マレーシアでホームステイ

マレーシアでは、ジョホール州シナラン村でホームステイを行いました。千種高校としては初めて挑戦するプログラムで、マレーの民家での生活に適應できるか不安もありましたが、民族衣装、伝統ゲーム、家庭料理等を体験し、ホストファミリーとも打ち解けて、充実したステイができました。

◆シンガポールについてのレクチャー聴講

シンガポールでは、千種町鷹巣出身で現地の日本語学校講師の藤原佳代さんに迎えていただき、シンガポールの歴史や文化、生活様式や流行などについて、クイズを交えて楽しくレクチャーをしていただきました。

◆シンガポール市内班別自主研修

市内班別自主研修では、事前に立てた計画により丸一日、生徒たちだけでシンガポール市内を巡りました。様々な民族が暮らすエリアを自分の足で歩き、ローカルフードを味わい、マレー、中国、インド、アラブ等の多様な文化に触れました。

◆シンガポールの名所見学

最終日、シンガポール動物園やマラーイオン公園を見学し、ショッピングモールで買い物を楽しんだ後、シンガポールフライヤー（大観覧車）に乗車しました。そこから見る夜景は圧巻で、旅の締めくくりにふさわしいものでした。



劇「かなくそ」



「ある日、千種中学校に東京から転校生がやってきた。これは、転校生と僕たちをたたら製鉄学習が繋いでくれた友情の物語だ。」照明を落とした舞台袖で、「いよいよ始まった。きっと大成功する。」と祈りながら、私は子どもたちと一緒に稽古をした数日間を思い返していました。「たたら製鉄をテーマに、3年生が合同文化祭で劇をするんですけど出ていただけませんか？題名は『カナクソ』です。」と依頼があったのは夏休みのことでした。「たたら製鉄がテーマなら、うれしいことや」とマッサンとベンサン（私）は二つ返事で引き受けたのです。鳥越先生が書かれたというシナリオは、素人の作品とは思えない本格的なものでした。



木原さんが演じる柚葉と猶原さんが演じる転校生あかりが心を開き合うクライマックス、柚葉が語ります。「カナクソ。千種の町にはたくさん落ちとんや。鉄になれんかった鉄。千種の砂鉄って、凄く純度の高い、ええ砂鉄なんやって。でもやっぱり不純な物質は混ざとって、使える鉄になるんは3割くらい

なんやって、その中のさらに、4割だけが『玉鋼』っていう一級の鉄になれる。その途中で出てくるんがこのカナクソ。鉄になれんかった鉄。私、今までずっと『玉鋼』はあかりちゃんみたいな人で、わたしはこの『カナクソ』みたいやなあって思うとった。何の役にも立たん存在。おってもおらんでもええ存在……。でも、最近考え方が変わったんや、本当は誰もが『玉鋼』を持とんやないかって。それを見つけることが人生で、一番大切なことなんじゃないかって。」何と泣かせる台詞であることか！

3年生19名が舞台挨拶をして緞帳が降りました。その瞬間の舞台裏、子どもたちのいい顔と歓声、主役も脇役もありません。晴れやかな顔です。握手をしたり、肩をたたき合ったり、柚葉とあかりは抱き合っていました。みんなで創り上げたことの喜びを分かち合うその舞台裏の感動の場面、それを目の当たりにできた大人は、二人のおいちゃんだけです。幸せな気持ちになりました。

私が稽古に参加したのは四日間、時間にして6時間くらいでしたが、稽古が進むに連れ、日を追うごとに子どもたちが成長していくのがわかりました。ふざける子なんていません。照れや恥ずかしさ乗り越えて、共通の目標に向かってクラスが仲間になっていったのです。何とすばらしい子どもたちであることか。ふるさと千種にはいい「玉鋼」が育っていると思いました。ありがとうございました。

最後に、子どもたちへ一言、
「おいちゃんは
カナクソも好きなんや」
(春名 勉)



がんばっています！千種高校生



◆ライフル射撃近畿大会出場！



11月17日、大阪府能勢町ライフル射撃場において、近畿高等学校秋季ライフル射撃選手権大会（兼・全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会近畿地区予選）が行われ、ライフル射撃部2年生の春名大空さんが、ビームライフル男子立射60発競技に出場しました。

結果は、12位（28人中）で、上位8名による決勝には惜しくも進出できませんでしたが、最後の射撃まで集中力を維持し、自分自身との戦いに大健闘しました。

来年度、3年生として出場する春季大会が楽しみです。インターハイを目指して頑張ってください。

◆“社会を明るくする運動”エッセイコンテストで県知事賞

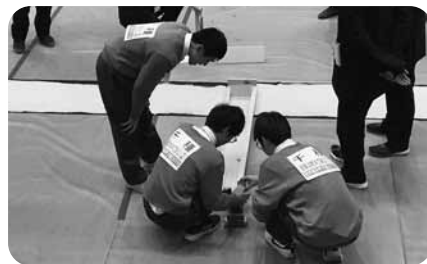
千種高校では、“社会を明るくする運動”兵庫県推進委員会が主催する、高校生エッセイコンテストに、毎年、生徒が作品を応募しています。

今年度、千種高校からは2年生35名が応募しましたが、その中から林美月さんの作品「立ち直る力をくれる人たち」が高校生の部で最高賞の県知事賞（兵庫県推進委員会委員長賞）を受賞しました。

表彰式は、12月26日に神戸市の法務合同総合庁舎で行われ、賞の贈呈を受けました。また、受賞者を代表して林さんが受賞作品を朗読し、会場から大きな拍手が送られました。



◆数学・理科甲子園 2019 予選突破、本選で8位に躍進！



12月21日、兵庫県教育委員会が主催する数学・理科甲子園 2019 が、甲南大学で行われ、MSA（数学理科活動サークル）の6名（2年生の千本達也、平瀬竜己也、宮本皓稀さん、1年生の春名一寛、鳥羽倅生、木内勝慶さん）が出場しました。

有名進学校も多数参加する中で、筆記競技による予選を13位（64チーム中）で通過し、16チームで実技を競う本選に進出しました。

本選では、数学・理科の思考的・工作的問題や観察・実験などの問題に挑戦し、8位に躍進しました。決勝進出の上位5チームには入ることができませんでしたが、居並ぶ強豪校の中で大健闘をしました。

ペンリレー 第4回 木梨 勝之さん

Q 今やっていることは？

仕事は土木建設業で、千種町黒土の土平工務店に勤務させて頂いています。

Q 千種の魅力について知っていることは？

千種川源流のキレイな水で育つ魚が魅力だと思います。子供の頃から魚釣りが好きで、あまごや鮎の美味しさ、美しさは千種の水で育つからだと思います。

Q 将来の夢は？

昔のように沢山の人で賑わい、活気に溢れる千種町の光景をみたいです。

Q 皆さんに一言どうぞ

自分は消防団、商工会青年部に入って活動させて頂いています。

年々、団員・部員とも少なくなっており、これからの千種を担う力が不足しています。

千種町の暖かい地域住民の皆さんのおかげで、自分達の今日があるのじゃないかと思います。

皆で助け合い頑張りましょう！

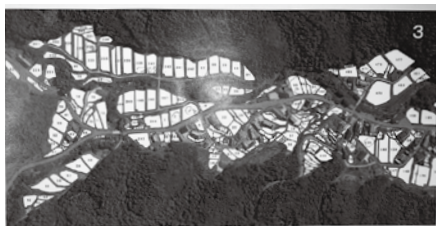
消防団・商工会青年部と、入団・入部よろしくお願ひいたします。



～ちくさを獣害ゼロの町に!!～

昨年の夏、県から指導員の先生に来ていただいて、獣害対策の講習会を行いました。それを受けて、西河内自治会と七野自治会がこの秋、取り組みを始められましたので、ご紹介させていただきます。

西河内自治会 11月3日



講習のあと、Google マップで作っていただいた実際の圃場地図で被害の多かったところを確認し、オリの設置場所を検討します。



そのあと、現地を見て回り、オリの設置場所を決めていきます。



みんなでオリを組み立てました。自治会が3つ購入（市が半額補助）。あと2つ県から貸してもらってます。合計5個のオリ。



センサーの取り付け。大人の猪で反応するように設定します。



4～5人で運べます。



設置してエサの又力を置く。まずは近くに来るようにオリの外に。



終わって、今後に向けての反省会。

反省会で出たことです。

●地区の問題点

- ・ 柵が山の中
- ・ 水害で柵が壊れている
- ・ 点検が不十分（壊れているのでしていない）
- ・ 柵の内外に草木が多い→イノシシの隠れ場所
- ・ 電柵の線の間隔が広すぎ、適正の高さに張れてない



●個人ですべきこと

- ・ きっちり電柵
- ・ 早く耕起（ひこばえ（稲刈りあとの穂）をなくす）
- ・ 草刈り



●地区ですべきこと

- ・ 柵やオリの点検体制を作る
- ・ 柵の補修、再設置の計画（山の中から下に降ろす）

●指導員ですべきこと

- ・ 講習会（電柵の設置方法、柵・オリの管理等）
- ・ モデル田を作る



その後、12月に入り、一昨年の水害で壊れていた柵をワイヤーメッシュで新たに張り替えました。（災害対策費でできる範囲のみ）

☆1月始めまでの成果

鹿4頭、猪2頭、(クマ1頭!!)



七野自治会 12月4日



七野自治会も同様に、まず講習会があり、圃場の地図で被害のひどい場所を確認し、現地を回り、オリを2つ（自治会で購入・市の半額補助）設置しました。



両自治会のみなさま、大変お疲れ様でした。

「村をあげて取り組めば必ず成果は出る。出ないところはありません。」と指導員の先生は言われます。

また、「村のまとまりのあるところは粘り強く取り組まれます。これに取り組むことで村がまとまったりもします」とも。

春以降、県の方から月一回専門員が来てくださるそうです。すぐに成果は出ないでしょうが、粘り強くみんなで頑張りましょう。

「めざそう！獣害ゼロの町・ちくさ!!」

匠シリーズ

七野の知念克幸さん 兵庫県技能顕功賞 (知事表彰・製めん工) 受賞

優れた技能を活かして産業発展に貢献した人を称える【兵庫県技能顕功賞】の表彰式が、11月27日、神戸市中央区の兵庫県公館でありました。

七野の知念克幸さん(68)が「兵庫県技能顕功賞(知事表彰・製めん工)」を見事受賞されました。知念さんは、31歳で創業されて以来36年間、製麺業に従事されてきました。素麺づくりは、水や塩、温度や湿度、時間など、その製造過程で様々な環境に大きく左右されるそうです。麺に艶や喉越しの良さ・旨味などを与えてくれるという『熟成』を、知念さんは特に大切にされてきました。

これまで長い間、素麺と向き合われてきた中で『30年を過ぎた頃から、やっと素麺と会話ができるというか、何となくですが、素麺が何を欲しているのかを分かりかけてきたかなという感じです』という言葉が、強く印象に残りました。

知念さん、受賞おめでとうございます！



実栗市消防団 千種支団 第1分団 第3機動部の紹介

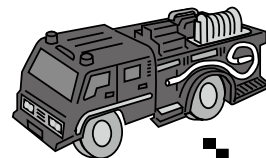
第3機動は黒土・中島自治会内の団員で構成されています。現在、13名で活動にあたっていますが、ご多分に漏れず、そのほとんどの者の勤務先は町外という状況です。

そのため、平日、日中の有事ともなりますと、OBや近隣住民の皆様の協力もいただかなければなりません。

その際に重要になってくるのが初期消火活動でありますので、両自治会員の皆様に、消火栓を利用した放水体験を実施させていただいております。また、ホース格納庫等の点検を行い、老朽化にともなう破損等、危険な箇所の改修・交換を自治会長にお願いしたところです。

少人数ではありますが、これからも地域の安全安心を守るために活動してまいりますので宜しくお願いします。

最後になりましたが、地域の皆様、そして、日々ご心配やご迷惑をお掛けしております団員のご家族の皆様には、この場をお借りして心よりお詫びと感謝を申し上げます。



エーガイヤちくさレストラン復活!!



△店主の木南嗣男さんご夫妻とスタッフ

☆店主の紹介

サラリーマン時代からそして定年後約 10 年間、米作り・野菜作りに励んできました。
きれいな水で育った美味しいお米を多くの人に喜んでもらえるのが何よりの喜びです。
レストラン経営をすることとなって、好きなゴルフに行けないのが唯一の悩みです。

・千種でレストランを営業しようと思ったきっかけは？

風聞で千種町内には飲食店がなく住民の方々が不自由されているとの事を知り、今回開店のお話があった時、皆様のお役に立てるならと決意いたしました。

・千種の印象は？

緑深い山々、清らかに澄んだ千種川、自然豊かな風情のある町並み。
エーガイヤに来られる方々は、皆さんとても親しみやすく朗らかな方ばかりです。

・おすすめメニューは？

佐用のものとは一味違うホルモン焼きうどん、そしてとても肉厚なトンカツ定食です！

・PRしたいこと

もっと気軽に立ち寄っていただける店作り・メニュー作り。
ホッとできるくつろぎ空間を目指してスタッフ一同頑張っています。

☆お客さんにインタビューレポート

レストランが復活した感想は？と問うと・・・

復活してほんまによかったわ～また行くとこできて喜んでますと即答。

私たちの憩いの場として月に2回程度コミュニティバスで鷹巣から出てきます。まずは、レストランで食事。そして食べながらの会話が弾んで弾んで！と大変賑やかでした。普段近所にいてもなかなか顔を合わすことも話すこともないので、ここに来たら溜まっていた話がいっぱい話がつきません。帰りのバスの時間まで、各々で銀行行ったり買い物したりお風呂に入ったりして有意義に過ごします。ストレス発散にもってこいの場所です。



常連の鷹巣の皆さん

お気に入りメニューは？

なんでも美味しいです。次来たときは違うもの頼んで一通り味見するつもりですとのこと。
全メニューを制覇する日もすぐでしょう。

七野の村上紘揚さん宅のフジバカマに、今年も
アサギマダラが飛来しました。

アサギマダラは海を渡る「渡り蝶」として知られています。羽根に書かれたマーキングにより、今年は山梨、長野、富山、福井からの個体が確認できたそうです。
長旅をする美しい蝶たちにロマンを感じます。
大切に見守っていきましょう。



□写真

白フジバカマで吸蜜中のアサギマダラ (み)
撮影：村上紘揚さん

♡ **こんにちは
赤ちゃん**



たにぐち とおり
河 呂 谷 透理ちゃん

父 理津也さん
母 愛梨さん

【メッセージ】
笑顔いっぱい元気な育ってね！

赤ちゃん写真大募集！

新しい可愛い家族を紹介してください。